

2019年度

韓国派遣留学報告書

実習先：慶熙大学

実習期間：8月31日（金）～12月26日（木）

新潟国際情報大学

国際文化学科

学籍番号：21018098

廣野 董

目次

1	研修先及び実習期間	3
2	研修先概要	3
3	研修目的	3
4	研修内容	3
	4 - 1 研修のスケジュール	3
	4 - 2 研修の詳細	4
5	所感	6
6	おわりに	6
	謝辞	6

付録

	研修日誌	7
--	------	---

1 研修先及び実習期間

研修先：慶熙大学 国際教育院

研修期間：令和1年9月1日（月）～令和1年12月19日（木）

※帰国は12月26日（木）

2 研修先概要

(1) 大学について

1947年に設立した私塾「新興専門館」が源流となる。1952年、四年制大学の「新興大学」に再編されて、1954年に大学院設置許可、1955年に総合大学としての認可も受けている。1960年、校名を「慶熙大学校」に変更し、以降も積極的に学校規模の拡大が続けられ、複数の大学を吸収して多数の学部・学生を抱える韓国有数の総合大学へと成長を遂げた。

慶熙大学校は創立以降、学問と平和の精神、および文化世界の創造の原則を追及してきた韓国の国際化をリードする名門総合私立大学である。

(2) 大学で行われている教育について

75カ国の国と地域、484校の協定校において学生交換や、学術交流、単位交換プログラムを積極的に行い、1993年には「大韓民国政府招請外国人奨学生の韓国語プログラム」の委託教育機関として選定されている。留学生は毎年約60カ国から3000人以上。留学生のための語学研修プログラムや宿舎などの施設の充実に加え、外国人留学生に学部生、大学院生を1人紹介する「韓国語トウミ制度」を設け、留学生の韓国生活、語学力の向上を支援している。

3 研修目的

今回の研修の目的は、韓国語力の向上と、現地で生活し、韓国文化の理解を深めることだった。日本では学校で週三回の韓国語の授業でしか韓国語を使う機会がないため、韓国語力、文化理解のために、韓国留学をし、日常的に韓国語に触れる必要があると考えた。

4 研修内容

以下から研修の内容を記述する。

研修期間中に行った活動の詳細は付録に記載する。

4 - 1 研修のスケジュール

研修期間中のスケジュールは以下のとおりである。

9月2日（月）日程

時間	内容
9:00~9:30	オリエンテーション
9:30~10:00	広報ビデオ視聴
10:00~11:30	レベルテスト
11:30~	キャンパスツアー

9月3日（火）～9月20日（金）時間割り

曜日	午前	午後
月	韓国語（初級1）	映像韓国語
火	韓国語（初級1）	韓国事情（特講）
水	韓国語（初級1）	セミナー
木	現地学習・チュソク	
金	韓国語（初級1）	

9月5日（木）現地学習（ロッテワールド）

9月12,13日（木、金）チュソク休み

9月19日（木）Nソウルタワー・国立中央博物館

10月2日（火）～12月12日（木）10週間正規過程 時間割り

曜日	午前	午後
月	韓国語（初級2）	映像韓国語
火	韓国語（初級2）	セミナー
水	韓国語（初級2）	韓国事情（特講）
木	韓国語（初級2）	韓国の歌
金	韓国語（初級2）	

11月5,6日（火、水）中間考査

11月11日（月）現地学習（南怡島）

12月5,6日（木、金）期末考査

12月13日（金）～12月18日（水）TOPIC 対策講義 時間割り

曜日	午前
金～水	TOPIC 対策

4 - 2 研修の詳細

スケジュールに記載してある各項目の内容は以下のとおりである。

i)韓国語（初級1）

国際情報大学の学生のみでの授業。毎日前半は文法の授業、後半は話す聞く、読み書きの授業を日替わりで行っていた。文法の授業では毎日、その日に習った文法を使った文章を書くという宿題が出た。

ii)韓国語（初級2）

初級1と同じく、前半は文法、後半は話す聞く、読み書きの授業を行った。様々な国の人たちと同じクラスになり、韓国語でのコミュニケーションを必要とされる。

iii)映像韓国語

毎週月曜日の午後に行われる授業。ドラマのセリフの意味を理解し、ドラマを鑑賞し、役決め、セリフ暗記をし、ドラマの再現をして撮る。また、自分たちで物語を作り、オリジナルのドラマを作る。

iv)韓国事情（特講）

毎週火曜日の午後に行われる授業。テコンドーや韓国料理を教わったり、景福宮へ行ったり、韓国の文化や伝統を学ぶことができた。

v)セミナー

毎週水曜日の午後に行われる授業。単語を覚えたり、グループに分かれて日韓の違いについての調査やインタビューをしたことをまとめ、発表を行った。

vi)韓国の歌

毎週木曜日の午後に行われる授業。グループに分かれ、各グループのおすすめの歌を発表し、その歌の意味を理解し、歌う練習をした。

vii)現地学習

9月にロッテワールド、Nソウルタワー、国立中央博物館、11月に南怡島へ行った。

viii)中間考査、期末考査

文法、ライティング、リーディング、リスニング、スピーキングのテストを2日間で行う。スピーキングのテストは先生との対話テストと、クラスメイトと二人でテスト範囲の文法を使った文を作り、発表する。

ix)ハングル大会

ハングルの書写大会。外国人が集まり、野外で書写をした。書写の他にもゲームもあり、盛

り上がっていた。

x)Topic 対策講義

秋学期が修了した後に国際情報の学生のみで TOPIC の対策問題を解いた。

xi)修了式

秋学期が終了した後、国際教育院全体の修了式を行い、TOPIC 対策講義終了後、国際情報の学生のための修了式を行った。

5 当初目的・目標への達成度

今回の研修の目的の達成度について、それぞれまとめる。

i)韓国語力を上げること

授業で習った文法を宿題や復習などで理解を深め、日常生活で使うことを意識した。それにより、相手の話していることも、自分が話したいことも、留学初期の頃と比べると、韓国語が上達したように感じた。

ii)韓国の文化について理解を深めること

特講やセミナーの授業、トウミとの交流により、日本にいたり、旅行に来ただけでは知ることができないことを知ることが出来たり、現地で生活したから分かったことも多く、韓国への理解を深めることができたと思う。

6 反省・課題

4 ヶ月の留学で韓国語だけではなく、非常に多くのことを学び、経験することができた。反省点としては、会話中に分からない単語があり理解が難しかった時に、そのまま流してしまっただけである。特に、最初の頃は文法も分からず、一人で話すことがとても難しかった。そのことを反省し、後半は分からないことがあればトウミに積極的に質問をし、理解することができた。また、今後の課題として、TOPIC 対策講義で学んだことを生かし、受験したいと考えている。

7 謝辞

今回、慶熙大学国際教育院にて懇切丁寧な指導をしてくださったキム・ウンジョン先生、ソク・チンジュ先生、イ・ソンジュン先生、寄宿舎の管理人さん、トウミのヘウォンさん、その他大勢の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、本学の韓国留学のサポートをしてくださった吉澤先生、申先生、その他多くの先生方にも心より感謝申し上げます。

最後に、今回の留学が実現したのは、新潟国際情報大学からいただいた奨学金のおかげです。心から感謝いたします。

付録：研修日誌

トウミとの週1度の交流はとても有意義なものだった。韓国語のみでの会話は理解することも、伝えることも難しかったが、楽しく食事や、遊びに行くことができた。



ロッテワールドアクアリウム（校外学習）

景福宮（特講）

